

## (様式第11)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	横山 広行	緊急部	4,100,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
半導体などナノ粒子による薬剤・細胞伝達システムの開発	斯波 真理子	バイオサイエンス部	4,400,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補	山原 研一	再生医療部	1,000,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補	吉政 康直	外来部	1,000,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
医療機器の臨床試験の実施の基準(医療機器GCP)のあり方に関する研究	妙中 義之	副所長	7,000,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	山田 直明	外来部	500,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
新規発症循環器疾患登録システムの開発に関する研究	神崎 秀明	第二循環器内科	322,940	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
新規発症循環器疾患登録システムの開発に関する研究	大原 貴裕	臨床研究開発部	500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
データベースライブラリー化における問題点とその解決策に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	3,800,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
新細胞移植システムの開発	山岡 哲二	生体工学部	3,160,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
大動物を用いた血管再生過程のPET・MRIによる低侵襲追跡	渡部 浩司	放射線医学部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
造血肝細胞分離手法と細胞バリデーション技術の開発	馬原 淳	生体工学部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心臓移植の体制整備に関する研究	中谷 武嗣	臓器移植部	17,490,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
臍帯血・羊膜・胎盤の安定なる供給システムの確立	池田 智明	周産期治療部	13,920,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心臓血管外科における再生医療資源の利用法に関する研究	八木原 俊克	副院長	2,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
Branch atheromatous diseaseと大動脈原性脳梗塞の診断、治療に関する研究	成富 博章	臨床心理部	7,800,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
虚血性脳卒中例における動脈硬化ハイリスク病変合併の実態と予後	横田 千晶	脳血管部門	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
頸動脈糊種硬化症の発症に関わる新たな遺伝子群の探索と臨床応用	阪本 英二	バイオサイエンス部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費

計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MRIとPETによる動脈プラークの性状と虚血性脳卒中の相関に関する研究	山田 直明	第三循環器内科	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
JAVTASK推進および脳梗塞の機能予後のおよぼす発症前降圧薬の種類による影響	宮下 光太郎	臨床心理科	5,900,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
X線とCTとMRIによる大動脈瘤の破裂予測診断法の開発と確立に関する研究	内藤 博昭	放射線診療部長	3,960,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
偽腔形態と組織性状に基づく大動脈解離症例の拡大・破裂の予測に関する研究	竹下 聡	第二生理機能検査室	1,400,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
大動脈のVasa Vasorumならびに炎症反応の評価・放射光微小血管造影装置およびF-18 FDG PETによる検討に関する研究	福島 和人	R・I診断治療科	1,400,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
脳血管解離の病態と治療法の開発	峰松 一夫	リハビリテーション部	16,740,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
解離性動脈瘤に対する外科治療の標準化	飯原 弘二	無菌治療科	1,200,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患の解剖学的分類を中心とする臨床情報の集積とその展開	越後 茂之	小児科	2,780,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患の病院遺伝子の探索と解析	森崎 裕子	バイオサイエンス部	2,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリック・シンドロームの成因における摂食関連ホルモンと遺伝学的素因の意義の研究	宮本 恵宏	臨床研究開発部	10,640,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリック・シンドロームと周産期因子に関する臨床的疫学研究	池田 智明	周産期治療部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患患者における摂食関連因子と病態の関連	大内 秀雄	第六循環器科	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性心筋梗塞発症登録及び追跡システムのあり方と構築方法に関する研究	野々木 宏	緊急部	300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性循環器疾患の重症度評価及び治療成績評価システムの開発と効果的運用に関する研究	横山 広行	緊急治療科	28,300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性期脳卒中の重症度・治療成績評価	豊田 一則	第二リハビリテーション科	800,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
くも膜下出血における臨床指標の確立	飯原 弘二	無菌治療科	600,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
院内発症登録におけるデータの標準化と多施設データの電子的収集方式の確立に関する研究	花井 荘太郎	脈管生理部	300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性心筋梗塞の発症登録体制の整備とこのデータベースを用いた病型別合併症別の予後決定因子の検討	大塚 頼隆	内科系心臓集中治療科	600,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第11)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長期耐久性を有する小児補助循環システムの臨床導入前最終基礎研究	八木原 俊克	副院長	12,000,000	補 委 補 ○
抗血栓性に優れ長期耐久性を有する次世代型小児用PCPSシステムの開発	巽 英介	人工臓器部	12,000,000	補 委 補 ○
研究統括	宮本 享	特殊病棟部	600,000	補 委 補 ○
SPECT定量化システムの精度評価と標準化	飯田 秀博	放射線医学部	11,990,000	補 委 補 ○
SPECT定量化解析プログラムのパッケージ化と物理的誤差評価	渡部 浩司	放射線医学部	1,700,000	補 委 補 ○
細小血管障害例における血管反応性と認知機能、再発との関連	横田 千晶	脳血管部門	1,700,000	補 委 補 ○
DTRAG法を用いた新たなデータベース構築に関する基盤的研究	福島 和人	R・I診断治療科	1,700,000	補 委 補 ○
血行力学的脳虚血における脳血流量の定量的評価法の標準化に関する研究	宮本 享	特殊病棟部	6,450,000	補 委 補 ○
モバイル・テレメディシンによるユビキタス・メディカルネットワークシステムの開発に関する研究	野々木 宏	緊急部	5,100,000	補 委 補 ○
不整脈診断における伝送型・連携型心電計の有用性に関する研究	鎌倉 史郎	臨床検査部	1,000,000	補 委 補 ○
モバイル・テレメディシンシステムを用いた病診連携の構築について	横山 広行	緊急治療科	500,000	補 委 補 ○
周術期経食道心エコー及び肺動脈カテーテルの疾患別適応ガイドライン作成	大西 佳彦	手術部	7,400,000	補 委 補 ○
生理活性ペプチドによる新規組織保護再生作用の探索	永谷 憲歳	再生医療部	1,500,000	補 委 補 ○
メタボリックシンドロームとその合併症における生理活性ペプチドの意義解明	吉政 康直	外来部	4,800,000	補 委 補 ○
新規内因性ペプチドによる組織保護再生機序の解明と治療応用に関する基礎的研究	宮里 幹也	生化学部	1,500,000	補 委 補 ○
高血圧管理における外来および家庭血圧と生活習慣病の目標達成に関する研究	河野 雄平	第1病棟部	3,960,000	補 委 補 ○
都市部一般住民を対象とした血圧管理ガイドライン遵守と目標達成度に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	1,200,000	補 委 補 ○
原発性肺高血圧症における肺血管リモデリングの病理学的検討	植田 初江	病理検査室	5,580,000	補 委 補 ○

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。





## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res	Impact of metabolic syndrome components on the incidence of cardiovascular disease in a general urban Japanese population: the Suita Study.	友池 仁暢	病院長
Eur J Med Mol Imaging	Prediction of functional recovery after revascularization using quantitative gated myocardial perfusion SPECT: a multi-center cohort study in Japan.	友池 仁暢	病院長
Thromb Res	No association between vitamin K epoxide reductase complex subunit	友池 仁暢	病院長
The Annals of Thoracic Surgery	Impact of age at Fontan completion on postoperative hemodynamics and long-term aerobic exercise capacity in patients with dominant left ventricle	八木原 俊克	副院長
The Annals of Thoracic Surgery	Morphologic spectrum of ventriculoarterial connection in hearts with double inlet left ventricle: implications for surgical procedures	八木原 俊克	副院長
European Journal of Cardio-thoracic Surgery	Does the off-pump Fontan procedure ameliorate the volume and duration of pleural and peritoneal effusions?	八木原 俊克	副院長
J. Am. Coll. Cardiol.	Natriuretic peptides enhance the production of adiponectin in human adipocytes and in patients with chronic heart failure.	北風 政史	心臓血管内科
Circulation	Metformin prevents progression of heart failure in dogs: Role of AMP-activated protein kinase.	北風 政史	心臓血管内科
Circ J	Global gene expression profiling in the failing myocardium.	北風 政史	心臓血管内科
Cardiology	Hyperintensity on T2-weighted magnetic resonance imaging in Takotsubo cardiomyopathy.	野々木 宏	心臓血管内科
Hypertens Res	Effects of the Y Chromosome on Cardiovascular Risk Factors in Japanese Men.	野々木 宏	心臓血管内科
Resuscitation	Effectiveness of simplified chest compression-only CPR training for the general public: A randomized controlled trial.	野々木 宏	心臓血管内科
心臓リハビリテーション (JJCR)	急性心筋梗塞症回復期心臓リハビリテーションに参加した高齢患者の退院後継続の規定因子	後藤 葉一	心臓血管内科
Hypertens Res	Effects of the Y chromosome on cardiovascular risk factors in Japanese men	後藤 葉一	心臓血管内科
日本冠疾患学会雑誌	退院後に心臓リハビリテーションに不参加となる急性心筋梗塞症患者における主観的妨げ要因の検討	後藤 葉一	心臓血管内科
Heart Rhythm.	Seasonal and circadian distributions of ventricular fibrillation in patients with Brugada syndrome	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Cell Transplant.	Transplantation of mesenchymal stem cells improves atrioventricular conduction in a rat model of complete atrioventricular block.	鎌倉 史郎	心臓血管内科

計17

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究結果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Invest.	The E1784K mutation in SCN5A is associated with mixed clinical phenotype of type 3 long QT syndrome.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
American Journal of Nephrology	Brain natriuretic peptide in hemodialysis patients: predictive value for hemodynamic change during hemodialysis and cardiac function.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Journal of Hypertension	Pulmonary venous flow and risk of cardiovascular disease in essential hypertension.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Clinical and Experimental Hypertension	Masked hypertension: subtypes and target organ damage.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Diabet Med.	Decreased circulating CD34+ cells are associated with progression of diabetic nephropathy.	岸本 一郎	動脈硬化・代謝内科
Hypertens Res.	Impact of metabolic syndrome components on the incidence of cardiovascular disease in a general urban Japanese population: the suita study.	岸本 一郎	動脈硬化・代謝内科
Circulation.	Regulator of G-protein signaling subtype 4 mediates antihypertrophic effect of locally secreted natriuretic peptides in the heart	岸本 一郎	動脈硬化・代謝内科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Current status of coronary artery bypass grafting.	小林 順二郎	心臓血管外科
Eur J Cardio-thoracic Surg	Patency rate of the internal thoracic artery to the left anterior descending artery bypass is reduced by competitive flow from the concomitant saphenous vein graft in the left coronary artery.	小林 順二郎	心臓血管外科
日本外科学会雑誌	心臓血管外科の最新治療—不整脈	小林 順二郎	心臓血管外科
Ann Neurol	Heart and vessel pathology underlying Brain infarction in 142 stroke patients.	峰松 一夫	脳血管内科
Neurology	Baseline NIH stroke scale score predicting outcome in anterior and posterior circulation strokes.	峰松 一夫	脳血管内科
Ann Neurol	Takotsubo cardiomyopathy in acute ischemic stroke.	峰松 一夫	脳血管内科
Neurosurgery	Growth Potential and Response to Multimodality Treatment of Partially Thrombosed Large or Giant Aneurysms in the Posterior Circulation.	飯原 弘二	脳血管外科
脳外誌	(特集)脳血管障害におけるEBM 軽症脳虚血に脳梗塞再発率が増加する閾値が存在するのか？ —JET2 Studyの中間報告—	飯原 弘二	脳血管外科
脈管学	不安定プラークを有する内頸動脈狭窄症に対する急性期頸動脈内膜剥離術 (CEA)	飯原 弘二	脳血管外科
Heart View	先天性心疾患の診断-CT/MSCTの有用性と限界へのチャレンジ	白石 公	小児循環器科

計17

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究結果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児循環器学会雑誌	母体由来の抗SSA抗SSB抗体による心筋細胞障害のメカニズムについて	白石 公	小児循環器科
日本小児循環器学会雑誌	第3の心筋原基としての心外膜前駆細胞 (epicardium-derived progenitor cell) -多様な分化能と心筋再生の可能性-	白石 公	小児循環器科
Am J Neuroradiol	Subtraction 3D CT Angiography with the Orbital Synchronized Helical Scan Technique for the Evaluation of Postoperative Cerebral Aneurysms Treated with Cobalt-	内藤 博昭	放射線診療部
AJNR	Preoperative Visualization of the Artery of Adamkiewicz by Intra-Arterial CT Angiography	内藤 博昭	放射線診療部
Acta Radiologica	Comparison of Gd-DTPA-Induced Signal Enhancements in Rat Brain C6 Glioma among Different Pulse Sequences in 3-Tesla Magnetic Resonance Imaging	内藤 博昭	放射線診療部
J Anesthesia	The clinical validity of the absolute value of nearinfrared spectroscopy	大西 佳彦	手術部麻酔科
Masui	Pulmonary artery catheter -Its utility and limitation	大西 佳彦	手術部麻酔科
Masui	Cognitive dysfunction after cardiac surgery	大西 佳彦	手術部麻酔科
Hypertension	Impact of high-normal blood pressure on the risk of cardiovascular disease in a Japanese urban cohort: the Suita study	岡村 智教	予防検診部
Atherosclerosis	Low-density-lipoprotein cholesterol and non-high density lipoprotein cholesterol and the incidence of cardiovascular disease in an urban Japanese cohort study: the Suita study	岡村 智教	予防検診部
Hypertens Research	Impact of Metabolic Syndrome Components on the Incidence of Cardiovascular Disease in a General Urban Japanese Population: The Suita Study	岡村 智教	予防検診部

計11

合計45

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究結果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。



(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 友池 仁暢
管理担当者氏名	庶務課長 畑井希久、医事課長 中山泰、調査課長 奥田隆、薬剤部長 小原延章

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画		運営局調査課 (病歴室)	病歴資料については、カルテ、X線フィルムともに入院、外来を含む1患者1ファイル方式とし、コンピュータにより集中管理している。特にカルテは膨大であり効率的に管理するため、アクティブカルテとインアクティブカルテに区分して管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	運営局庶務課	/
	高度の医療の提供の実績	運営局医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	運営局政策医療企画課	
	高度の医療の研修の実績	運営局政策医療企画課	
	閲覧実績	運営局調査課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	運営局医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	運営局医事課	
確保規則第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医療安全推進室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	運営局医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	確保の状況 規則第1条の1 1 各号に掲げる体制	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全推進室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全推進室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全推進室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全推進室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営局長 中林 圭一
閲覧担当者氏名	庶務課長 畑井 希久、医事課長 中山 泰、調査課長 奥田 隆
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	92.5 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	5,878人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,665人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,524人	
	D：初診の患者の数	8,861人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有( 1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有( 1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任( 1 )名 兼任( 21 )名 ・ 活動の主な内容： ○安全管理に関する医療機関内の体制構築に参画し、医療安全に係る委員会で中心的な役割を担い、安全管理上の問題提示、対策評価、質の向上のために必要な事項を提言する。○医療安全に関する職員への教育、研修の企画・運営・評価。○医療事故を防止するための情報収集と分析、対策・立案・評価。 ○事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
・ 指針の主な内容： ①趣旨、②医療安全推進のための基本的な考え方、③医療に係る安全管理のための委員会・組織に関する基本的事項、④医療に係る安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針、⑤センターにおける事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針、⑥医療事故等発生時の対応に関する基本方針、⑦医療従事者と患者との情報共有に関する基本方針、⑧患者からの相談への対応に関する基本方針、⑨その他の医療安全の確保のための基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 資料1参照	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容： ①採用者に対する医療安全講習会 146人、②講演会：医療訴訟ガイダンス 178人、③講演会：肺動脈血栓症の予防と管理 145人、④大規模災害における循環器専門病院の対応 1033人、⑤講演会：医療におけるヒューマンエラーとその対策 1032人、⑥中途採用者医療安全講習会 32人	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料2参照	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>①院内感染対策に関する基本的考え方 ②院内感染管理体制 ③職員研修 ④感染症の発症状況の報告 ⑤院内感染発生時の対応 ⑥患者への情報提供と説明 ⑦その他の院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>①院内感染の調査、予防対策の立案 ②予防対策実施の監視と助言、指導、勧告 ③職員の教育指導 ④院内感染対策の指針及びマニュアルの作成・見直し</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○多剤耐性菌対策について 551人 ○抗菌薬適正使用について 976人</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①検出菌報告(月報)を作成し、感染対策委員会で報告 ②検出菌報告(週報)を作成しICTラウンドに活用③多剤耐性菌検出時には、速やかに助言等の対応を実施 ④特定抗菌薬使用の届出の義務化 ⑤院内感染対策マニュアルの内容追加・変更と職員への周知</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①新採用医師「与薬指示の書き方」 47人                  ②新採用看護師「医薬品の保管管理・危険薬の取扱い」 64人                  ③技師「検査室での急変対応 -救急カートについて-」 61人</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>①医薬品の採用 ②医薬品の購入 ③調剤室における医薬品の管理 ④病棟・各部門への医薬品の供給                  ⑤外来患者への医薬品使用 ⑥在宅患者への医薬品使用 ⑦病棟における医薬品の管理 ⑧入院患者への                  医薬品使用 ⑨医薬品情報の収集・管理・提供 ⑩手術・麻酔部門 ⑪集中治療室（ICU・NC                  U）⑫輸血・血液管理部門 ⑬生命維持管理装置領域 ⑭臨床検査部門、画像診断部門 ⑮他施設との                  連携 ⑯事故発生時の対応 ⑰教育・研修</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>メーカー及び医薬品医療機器総合機構等から随時情報収集し、院内webにてDIニュースとして発信。                  重大情報・緊急情報については文書による回報を併せて行い、専任医療安全管理者が伝達状況を確認し                  ている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容：</li> </ul>	
資料4参照	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の策定 (有・無)</li> <li>保守点検の主な内容：</li> </ul>	
資料5参照	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul> <p>医薬品・医療機器安全情報をはじめ、メーカーからの提供情報、インターネットによる情報検索により、医療機器の安全使用関連情報収集し、医療安全推進委員会等で資料等の情報提供を行い院内に周知している。伝達状況については、伝達確認表により確認をしている。</p>	